



平成 30 年 11 月 14 日

各 位

株 式 会 社 R V H
代表取締役社長 沼田 英也
(東証二部・コード 6786)
問合せ先 IR・広報室
電話 (03-4579-9755)

特別損失（貸倒引当金繰入額）の計上及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019 年 3 月期第 2 四半期において、特別損失（貸倒引当金繰入額）を計上し、2019 年 3 月期（2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日）通期連結業績予想について下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は、平成 30 年 1 月 23 日に開示いたしました「簡易株式交換による株式会社ラブリークィーンの完全子会社化及び筆頭株主である主要株主の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、簡易株式交換の手法により、平成 30 年 2 月 13 日付で、ラブリークィーン株式会社（以下、「旧 L Q という」）から事業継続に必要な資産および負債を承継した株式会社ラブリークィーン（以下、新 L Q という）の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。

旧 L Q においては、中小企業再生支援協議会の決定に基づき、同社に残存する金融債務等の減免を受けており、旧 L Q が上記の簡易株式交換に伴い取得した当社株式の売却により弁済原資を確保し同債務を弁済する予定でありましたが、株式売却による弁済原資の確保が想定通り進捗しなかったことから、新 L Q により債務弁済原資の一部を立替支払いたしました。当該立替分の債権については、旧 L Q における当社株式売却による弁済を見込んでおりますが、現時点において当該株式売却が長期化傾向にあり、旧 L Q の保有する当社株式の時価が当該立替債権残高を下回って推移していることから、新 L Q の旧 L Q に対する当該立替債権と旧 L Q の保有する当社株式の時価との差額 405 百万円を貸倒引当金繰入額として特別損失に計上することといたしました。

2. 業績に与える影響

上記の特別損失（貸倒引当金繰入額）の計上による当社連結業績への影響につきましては、現在精査中であります。

3. 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	58,300	2,140	2,130	760	39.32
今回修正予想(B)	-	-	-	-	-
増減額(B-A)	-	-	-	-	-
増減率(%)	-	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	53,006	737	912	317	18.54

・修正の理由

2019年3月期通期連結業績予想については、本件特別損失及びその他要因を含め精査中であるため、未定とさせていただき、グループ各社の直近の業況を踏まえた予想を策定次第、改めて公表いたします。

以 上